

謹賀新年

旧年中は大変お世話になりました

本年もどうぞよろしくお願いいたします

令和六年 元旦

居合道たより

令和6年1月/第210号



はじめに

福岡県剣道連盟 居合道部 会長 井手 友太

新年明けましておめでとうございます。

数年来続いていた人類とコロナウイルスの戦いもようやくほぼ終焉を迎え、以前の日常に戻った新しい年の始め、久しぶりに穏やかな気持ちで迎えている。

数十年来、拙道場の剣道、居合道の新年稽古始めには必ず門弟達に伝える言葉がある。

『一年の計は元旦に有り』

修練の最終目的は皆同じだが、一年間の目標は人それぞれに毎年違ってくる。

新鮮な気持ちで己の一年間の目標を定め、それに向かって着実に一步一步進んでもらいたい。一步なくしての飛躍などはありません。

今年六月には全剣連主催六、七段居合道審査会と中央、地区居合道講習会が久留米市総合体育館で開催される。

前回主管開催から十三年も経っているので当時を知らない剣友も増えてきた。どうか会員一人一人が主管県としての誇りをもって一丸となり積極的に取り組んで頂きたい。

ひいてはそのことにより県全体はもちろん一人一人の会員の居合道に対する考え方、取り組み方が一歩前進することになると信じている。

今、世界では異常気象や紛争などにより人類がかつてないような危機的状況に陥っている。

全剣連の『剣道修練の心構え』の掉尾に記されている「広く人類の平和繁栄に寄与せんとするものである。」に居合道を通じてなにかひとつでも一歩でも近づくことは出来ないものだろうか。

せめて今年は全世界の人々が平穏に暮らせる一年間であってほしいと願わずにはいられない。

そんな世界情勢の中、私たちは居合道を続けられる幸せに感謝しながら、今年一年間を有意義に過ごしていきましょう。会員皆様方のご健康と御精武を心よりお祈り申し上げます。

1月・2月の予定

1月 7日 福岡県居合道部初稽古会 福剣連

福岡武道館

表敬訪問しました



教士八段 馬場 清治先生が八段昇段の報告に、11月22日
嘉麻市の赤間市長を表敬訪問しました。

赤間市長は「昇段おめでとうございます。これから未来につながる後輩の育成のためごしどうおねがいします」とのお言葉をいただきました。

編集後記

あけましておめでとうございます。

旧年中はお世話になり大変ありがとうございました。本年もよろしくお願ひします。

さて、令和になってもう6年目、2024年の幕開けです。

先日友人と話していた時に「鏡餅ってどんな意味があるの?」と聞かれ「確か、餅の大小が親子上に乗ってるのがだいたいで親子(先祖)代々、干し柿が10個でいつもニコニコ、仲睦まじく、裏白(裏の白いシダの葉っぱ)を置いて、裏白く、昆布でよろこぶ。という験担ぎだよ」と答えました。地方や家によって色々あるので、当然「知らんけど」と付け加えたのはいうまでもない。

さて2月に予定しておりました「初心者体験教室の参加者のみなさまのレクリエーションは、日程の調整がつかせませんでしたので延期として、3月の昇段審査会終了後に行いたいと思います。何卒みなさまのご意見などをお聞かせくださいませ。

© 公益社団法人 福岡県剣道連盟・福岡県剣道連盟 居合道部

第210号 令和6年1月発行

発行：福岡県剣道連盟居合道部

URL：<http://riai.info/>

発行人：井手友太

〒819-1132 糸島市有田 36 番地 -1

TEL:092-322-0847

編集：有限会社 FEW